

全国スポーツ流鏝馬第9回八戸大会 御礼

令和6年8月11日（日・祝）に開催されました標記大会にて、本学院のブースを出展し、生徒とともに活動することができました。また、生徒代表5名による立射演武の成果披露も果たすことができました。

本学院は、平成25年に星槎国際高等学校と提携し設立した「青森県教育委員会指定技能教育施設」です。通信制高校の機能的な部分と、毎日通える環境を備え、「人を認める」「人を排除しない」「仲間を作る」の3つを約束事とし、現在30名が在籍しております。

さまざまな原因で不登校を経験したり、既存の学校になじめなかったり、いまの環境を変えたい（通っている高校を転校したい）生徒などを主な対象としております。

ゆるやかな学習カリキュラムの中で、さまざまな体験活動を通して自己効力感や成功体験の積み重ねを重視しております。特に、昨年度より「八戸弓馬会あおば道場」を開設し全国初となる「スポーツ流鏝馬コース」を設け、常日頃、弓に触れることができる環境になっております。

～普段の活動風景～



大会当日のあおば学院ブースでは、飲料などの販売を行いました。学院で勉強する「商業科目」との関連も見い出し、生徒にとって有意義な体験をすることができました。あわせて、チャレンジマッチにも1名参加をさせていただき、2年目にして目標を達成することができました。

今後とも本活動の継続および学院生徒たちの経験値や自己効力感向上のため、ご支援ご協力賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

<生徒感想（一部）>

先日は流鏝馬大会にブースを出展させていただきありがとうございました。雨の中でしたが初めての参加で胸が躍りました。馬を間近に見たのも初めてで、弓を持ち、矢を射る選手の姿はとてまっかっよく迫力がありました。皆様のご協力のおかげで私たちもブースを出展、立射演武の披露という成果発表の場に立つことができ、思い出に残る大会となりました。流鏝馬との関りを持つことができうれしく思います。 3年 T. S

今回は、初めてあおば学院から流鏝馬チャレンジマッチに出場させていただき、ありがとうございました。令和5年4月から始まったスポーツ流鏝馬コースとして、一年間弓の練習をしていましたが、なかなか本格的に馬に乗るタイミングがなく、立射演武は何回か経験していましたが、満を持して流鏝馬大会に出場できてうれしかったです。

本番前日となり、内心では駆け足が出るかどうかのもすごく心配でした。ところが、櫛引八幡宮に入ったクロムは練習を遥に凌駕する速さで走り、驚きました。そして8月11日の本番、二走走ることになり、タイムは13秒と14秒でした。結果は、どちらも一時的の中で、無様な結果には終わらず良かったです。一年と数か月続けてきたので、ようやく身になったという実感があって、本当に楽しかったし、嬉しかったです。本当に、今回はこのような場を設けていただき、ありがとうございました。 3年 S. H

今回も八戸あおば高等学院のブース出展にご協力いただき、ありがとうございます。今年の流鏝馬大会は天候に恵まれず、昨年よりも大変に思うことがありましたが、ブースのテントから流鏝馬大会に出場している選手の皆さんや大会関係者の方々の姿を見て、たくさんの方の協力、流鏝馬への愛でこの大会は開催されているのだと感じました。雨が降っているのが嘘かのように会場が笑顔であふれていて、流鏝馬の魅力というものを改めて実感できた素晴らしい1日でした。貴重な体験となりました。 3年 Y. R



選手として出場



ブースの様子



5名による立射演武



立射演武メンバー
記念写真

<本件担当> 八戸あおば高等学院
事務局長 白山 拓 弥
TEL 0178-22-3470
FAX 0178-22-3475
Mail info@hachinohe-aoba.com